

# 一般質問

12月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。(順不同)

## Q&A



一般質問とは、本会議で議員が市政全般にわたって市長等(執行機関)に対して疑問点を質問したり、政治姿勢を明らかにしたりするものです。



在宅生活継続のため生活支援の充実を  
「神奈川ネット」 土山 由美子

**Q**平成28年に介護予防・日常生活支援総合事業へ移行し、3年が経過する。評価や検証をどのように考えているのか、見解を聞きたい。

**A**【保健福祉部長】要支援認定者が総合事業の開始に伴い、事業対象者となっても、従前受けていた予防給付と同様のサービスを受けられる体制を確保し、要支援認定を受けずに基本チェックリストだけでサービス利用が可能となったため、早期の利用につながっている。今後も総合事業の利用



児童の健全育成のために待機児童の解消を  
「創政会」 長嶋 一樹

**Q**近年ライフスタイルの多様化など、子育て世帯の共働きが増加しており、安心して子どもを預けられる児童コミュニティクラブは、必要不可欠なものとなっている。

一方で、設置場所や支援員の確保など、多くの課題を抱えているが、今後の見直しについて、見解を聞きたい。

実施場所の確保については、教育委員会等と調整を行い、小学校の余裕教室等の確保に努め、また、今後も民間事業者の協力をいただきながら、安定的な運営と事業の拡大に取り組む、子どもたちの安全安心な居場所を確保していく。

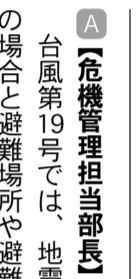
**◎地域公共交通対策について**  
**◎有害鳥獣対策について**



台風・豪雨被害を想定した避難訓練と周知について  
「いせはら未来会議」 相馬 欣行

**Q**現在の防災訓練は地震を想定した訓練であるが、台風・集中豪雨による避難指示が出た場合は、避難方法が変わり、市民が戸惑いを感じている。台風・豪雨被害を想定した避難訓練の実施や災害別の避難方法の違いについて周知することが必要と考えるが、見解を聞きたい。

**A**【危機管理担当部長】台風第19号では、地震の場合と避難場所や避難行動が異なる点について周知が不十分であるという課題が明確になり、これまで風水害を想定した避難訓練が実施されなかったことも、一つの要因



キエー口を活用したごみ減量化の取り組みについて  
「公明党」 田中 志摩子

**Q**生ごみ処理容器キエー口を普及させ、家庭で生ごみを処理することで、ごみ減量化が期待できる。



キエー口自体を広く周知するため、小学校給食の調理くず等の処理に活用、また、各公民館に設置し、実演展示を行い啓発することは効果的だと考えるが、見解を聞きたい。

**A**【経済環境部長】給食残渣を処理する取り組みについては、学校のような大人数にかかわる施設では、処理能力上、減量効果が限定されてしまう」と想定される。

**◎台風の19号の本市の避難体制について**

**◎台風の19号の本市の避難体制について**



再開発組合に対する債権処理の考え方  
「創政会」 多田 巖

**Q**当時の再開発組合は、未精算の事業資金について、市からの貸し付けを受けており、組合側に債務が残っている状況である。今後、新たな市街地整備を進めていく上で、組合への貸付金の処理方針や組合解散に向けた取り組みについて、考え方を聞きたい。

**A**【都市部長】平成12年2月に再開発組合は組合活動の休止を決議したが、再開発事業を進める上で必要な調査費等の経費を、市が組合に貸し付けた債務がある。

**◎今後のまちづくりと市民の移動支援について**



犯罪被害者等支援条例の制定で犯罪被害者の支援拡充  
「公明党」 中山 真由美

**Q**令和元年度伊勢原市人権啓発講演会で、市長は人権を尊重するまちづくりをめざしていると挨拶している。

**A**【市長】人権施策については、さまざまな課題

**◎路面空洞調査について**



社会の変動にマッチングした学校のあり方を探る  
「創政会」 八島 満雄

**Q**新学習指導要領が、小学校は令和2年度、中学校は3年度に完全実施となる。

**A**【学校教育担当部長】小学校では、15分間の短時間学習を朝に設け、短時間で学習したほうが効果の高い内容などを扱い、授業時間として確保

**◎特色ある教育モデル推進事業「大山小学校について」**